令和7年度　上田市立塩田西小学校　学校自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）	
かしこく やさしく たくましく ー学校経営ビジョンー 誰もが安心して 生き生きと学び 自主性をはぐくむ学校	「かしこく」 意欲的に学習に取り組む子ども 「やさしく」 人やものを大切にする子ども 「たくましく」 心と体をきたえる子ども	
	今年度の重点目標	
	1	安心して取り組める、わかる・楽しい授業づくり
	2	誰もが安心できる学級・学校づくり
	3	自分を向上させる心と体づくり

総合評価

令和７年度の教育活動は、学校経営ビジョン「誰もが安心して　生き生きと学び　自主性をはぐくむ学校」の実現に向け、概ね高い水準で達成された。

「かしこく」（重点①）では、授業のユニバーサルデザイン化の推進により児童の表現力が向上し、自分の考えを具体的に記述できる姿が見られた。一方で、授業の「わかりやすさ」の実感が微減しており、「話を聞く」姿勢についても児童と教員の間で認識のズレがある点が課題である。「やさしく」（重点②）は、児童・保護者の9割以上が肯定評価しており、最も成果が顕著である。６年生が下級生をリードする姿や教職員への厚い信頼が構築されているが、廊下走行や挨拶、清掃といった学習規律の徹底には継続的な指導が必要と思われる。「たくましく」（重点③）では、多くの児童が前向きに自己評価しているが、教員側は環境づくりも含め「粘り強く取り組む力」がまだ不足していると感じており、認識に差が見られる。また、地域連携においては、ふるさと学習が保護者アンケートで満足度100％を得るなど、教育課程の核として極めて高い成果を上げている。

今後は、児童の「つぶやき」や願いを起点とした探究的な学びを更に充実させ、他者との対話を通じた学びの深化と、家庭と連携した「粘り強さ」を育む個別支援の充実に向けて取り組んでいきたい。

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
授業のユニバーサルデザイン化（UD化）により、９割以上の児童・保護者が「授業がわかりやすい」と肯定的に評価している。また、伝え合いの場面設定により表現力の伸びが見られる。一方で、 授業が「わかりやすい」と感じる児童の割合が微減傾向にあり、職員からも改善の必要性が指摘されている。		○			本校の学校教育活動の特長であるUD化を基盤とした授業づくりについて、研修をさらに深めることで、「安心して取り組める」「わかる」「楽しい」と児童が実感できるように授業を改善していく。
児童・保護者共に９割以上が「学校が楽しい」「先生に相談しやすい」と回答し、教職員への高い信頼が示されている。行事を通じた異学年交流も活発である。廊下走行や挨拶、掃除の徹底など、学習規律や公共の場でのマナーに課題がある。		○			・お互いの考えを受容できる温かい雰囲気の学級づくりを進め、児童の心理的安全性を高める。 ・日頃の声掛けや連絡を密にし、相談しやすい環境を維持する。 ・挨拶の励行や廊下歩行の意識付けを継続的に行う。
児童の多くが「最後まであきらめずにがんばっている」と前向きな自己評価をしている一方で、職員の視点では「あきらめない心」や「粘り強さ」に児童との意識差があり、体力づくりや健康意識の向上も課題である。		○			・運動の動機付けや場所・時間の確保に努め、主体的な体作りを支援する。 ・家庭と連携し、粘り強く取り組む力を育む個別サポートを充実させる。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動（重点目標にかかわって）	重点①	自分らしく学ぶ授業展開の工夫	課題解決に向け、自分に合った学び方を選び自分らしく学ぼうとしているか	多くの児童が「授業や学校生活の中でやってみたいことができた」と考えている。体育の創作ダンスの振り付けについて、自分たちで意見を出し合い完成させることができた。また、授業の振り返りに、自分の感じたことや考えたことを具体的な自分の言葉で書けるようになり、「自分で考えようとする姿勢」に伸びが見られた。		○			児童の「調べてみたい」「確かめてみたい」という気持ちを出発点にした学習展開を、諸教科においてより組織的に構築していくことが求められる。また、学習意欲を向上させるための動機付けや励まし、振り返り（評価）を大切にする。
		学習に向かう基本姿勢	１時間のゴールを見通した「塩田西スタイル」の授業をしているか	授業の流れを提示するなど、児童が見通しをもって授業に取り組めるような工夫をすることができた。また、多くの児童が「最後まであきらめずにがんばっている」と前向きに取り組んでいる。「話を聞く」ことについて児童と教師の認識にズレがある。		○			話を最後まで聞けるように、また、粘り強く取り組めるように、１時間のゴールを見通せる授業展開を構築し、見通しを持って学習に臨めるようにする。
		子どもが主体の授業	子どもの「見たい」「知りたい」「確かめたい」から始める授業となっているか	多くの児童が「授業や学校生活の中でやってみたいことができた」と考えている。また、保護者も子どもの自主性や探求心を尊重する姿勢を肯定的に評価している。	○				児童のつぶやきや願いをきっかけに「やってみたい」を実現できる機会をさらに広げ、粘り強く取り組めるように支援していく。
		表現力の育成	考えを伝え合いながら学習を深める学び合いをしているか	授業の終わりの振り返りにおいて、自分の感じたことや考えたことを自分の言葉で具体的に書ける様子が見られるようになっている。話の聞き方が課題。		○			単に自分の考えを述べるだけでなく、他者との対話を通じて学びを広げ、深めていく過程を重視する。相手の話をしっかり受け止める習慣を身につけさせたい。
	重点②	認め高め合う子どもの育成	「自分も（自分たちも）もなかなかやるなあ」と達成感や満足感を味わえる機会を設定しているか	児童会活動等で責任感や企画運営力が伸び、自分たちの力で実現する姿に保護者からも高い評価を得た。一人一人と真摯に向き合う姿勢が信頼に繋がっている。		○			子どもが企画運営する活動の場を広げ、主体性を一層伸ばす。自己評価や相互評価の場面を設け振り返ることで、自己肯定感を高めていきたい。
		教師と子どもの人権感覚	子どもの思いに寄り添った温かいかかわりをしているか	保護者からは、「先生方が子どもと同じ目線に立って寄り添ってくれている」「温かい眼差しで見守ってくれている」といった声が多く寄せられた。	○				児童一人一人の思いを大切にし、真摯に向き合う姿勢を継続することで、構築された信頼関係をさらに深めていきたい。
	重点③	たくましい心の育成	目標設定、行動、見直しのサイクルを回し、挑戦する気持ちを育てる場を設定しているか	６年生が下級生を牽引して行事を企画・運営したり、児童手作りの記念式典を行ったりするなど、自分たちの「やりたい」という思いを形にする姿が見られ、保護者からも、子どもたちが自分たちで考え、進めていく姿に感動したという声が寄せられた。		○			児童が主体となって自分たちの力で「やってみたい」を実現できる機会を設けられるように支援していく。試行錯誤する経験を積ませることで成長につなげたい。
		体力づくり	楽しみながら体を動かせる活動（マラソン、なわとび、児童会企画）や体育の授業が充実しているか	広い校庭や体育館といった恵まれた環境の中で、多くの児童が「進んで運動をして、元気な毎日をすごしている」と考えている。		○			体力テストの結果から具体的な課題を見出し、家庭とも連携しながら、児童が主体的に健康な体作りをしていけるような環境を整えていきたい。
		校内研究・研修の充実	外部講師による研修や授業研究会を通して教師は学び続けているか	研修を通じた授業改善の取り組みに対し、多くの保護者に肯定的に評価していただいたが、「最後まであきらめずに取り組む力」について、児童の肯定的な自己評価に対し、職員側は支援体制や環境づくりにさらなる課題を感じている。		○			外部講師による研修や授業研究会を充実させ、教師自身の指導力を継続的に磨き続けたい。
学校運営	地域連携・発信	安全教育	「自分の命は自分で守る」という意識を育む安全教育の推進と地域連携をしているか	校長が毎朝、児童の登校を見守っている活動に対し、保護者から「ありがたい」との感謝の声が寄せられた。また、児童の間で、困っている友達を助けようと行動する姿が見られた。廊下を走る児童が多いことが課題。		○			職員による児童への粘り強い指導で廊下歩行の安全意識を高めたい。また、熊の出没などの安全上の懸念に対し、引き続き教育委員会と密に連携していきたい。
		特色ある教育活動	地域のひと・もの・ことと関わりながら学びを深める「ふるさと学習」は充実しているか	地域と密着した多様な「ふるさと学習」が行われ、アンケートの「子どもさんの成長に地域の方々のかかわりが生かされているか」という問いに対し、保護者の100%が肯定的に回答しており、昨年度より評価が向上した。活動そのものや、地域からいただく支援の内容について、より教育的効果を高めるために今後さらに検討が必要	○				単なる「体験」で終わらせず、質の高い「探究」へと深化させるため、地域素材を活かした学習を、教師主導から「子どもの想いから出発する探究的な学習」へと高められるよう意識して進めていく。
		積極的な情報発信	教育実践を学校HPやおたより等で発信しているか	学校だよりや学年だよりで積極的に学校教育活動について発信をすることができた。学力テストや体力テストの結果などのデータを活用し、家庭と情報を共有しながら、児童が主体的に生活習慣を改善できるようにしたい。		○			寄せられた意見を基に、教育活動や安全管理の質を向上させるための検討を校内で重ね、安全・安心な学校づくりの具体的な取組について発信をしていく。

○　評価基準　A・・・達成できた　B・・・おおむね達成できた　C・・・やや達成できなかった　D・・・達成できなかった